瓦版創刊から、2年が経ちました！

瓦版２周年記念イベントを開催します！詳しくは３面をご覧ください→

淀江の宿（よどえのやど）
今津田中家（いまづたなかや）
瓦版
第 24 号
2025.03 発行

作り始めたきっかけは？

2023年3月に創刊した「淀江の宿 今津田中家」瓦版。当初は、日替わり店長カフェを始めるにあたり、その日程をインフォメーションする目的でスタートしました。

その2年前の2021年3月に「淀江の宿 今津田中家」のWEBページを作成した際、**「淀江プロジェクト」物語**のページを作りました。相関図や登場人物紹介を載せたりするとともに、第1話～第50話までのタイトルを掲載したのですが、3話まで完成させて、4話からは下書きで止まっていました。その間、20人以上の方から、「続きはどうやったら読めるんですか？会員になれば読めますか？」などの問合せを戴き、この瓦版を機に毎月1話ずつ書いていくことを決めて、本号で第23話まで進めることが出来ました。

日替わり店長カフェは、宿泊との兼ね合いで日数を減らしていますが、工夫しながら今年度もやっていきたいと考えています。

デザインは大野真琴さん！

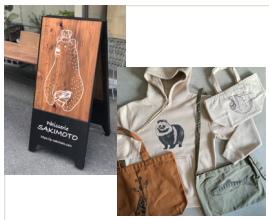
瓦版は、2020年12月、淀江の宿 今津田中家のロゴ制作をしてくださった**「アメノデザイン」**の**大野真琴**さんと共同で作成しています。彼女とは、大阪の古いビルを皆でリノベーションした**ソルトバレー**のプロジェクトで、2016年4月に出逢い、それ以来、チラシ作成など、様々なデザインの仕事を依頼してきました。2020年に淀江にUターンして、距離的に離れてからも、私洋子が仕事で関わったデザイン分野は、他社の仕事を含めて、彼女に多く携わっていただきました。瓦版を作成する際も、お願いするなら彼女と！ということで、この2年間、一緒に作成してきました。

いつもバタバタの打ち合わせ

まず、私がどんな内容にするか概要をまとめ、オンライン会議で、紙面割を決めていきます。

大雑把な内容を聴きながら、**大野**さんが整理、紙面割を決めて、文字数を提示してくださいます。

【大野談】予定がいつもぎっしり詰まった洋子さん。そんな中で進める会議はいつもバタバタで（笑）。雑談も交えながら一回の会議時間は4時間はザラで、それを2・3回ほど重ね、1号が完成します。大変ですが洋子さんと進めるお仕事は楽しく、完成した時の満足感はひとしおです！



つなげるデザイン
ameno design

デザイン事業では、企業様やお店のロゴマーク・店舗外観デザイン・各種印刷物・WEB デザインなどを制作しております。また、小売り事業として、動物イラスト雑貨ブランド「ameno」を展開。関西を中心に全国の百貨店やマーケットなどに出店しております。

ameno-design

動物イラスト雑貨
ameno

24号までダイジェスト＆皆様の声

皆様の反応に励まされて、24号まで発行することができました。ありがとうございます！ 戴いた声の一部を掲載します。

一番人気は「淀江プロジェクト物語」

第1話

■お父さんお母さんのラブレターがあったんですね。素敵ですね。
■息子さん、冷たいですね～。売ってしまったらって。どうなっていくか楽しみです。

第2話

■具体的な数字が入っていて、びっくりしました。リアルですね。

全話を通じて

■毎号、まずは4面から読みます。
■淀江プロジェクト物語」を一気に読みました。続きがとても楽しみです。
■一人称でなく、「洋子」という書き方で、「洋子」に感情移入しながら読んでいます。
■たくさんの人たちが登場して、皆で楽しくリノベーションしている様子が伝わってきて、とても面白いです。
■物語の登場人物に出逢い、「あ、物語のあの人だ！」と嬉しくなりました。
■私にも両親が亡くなったら空き家になる実家があり、興味を持って読んでいます。

毎月の特集

取組

■いろんな取組をされているのが具体的に書かれていて、よくわかります。
■インバウンド、とても楽しそうですね。
■電動サイクルで周遊してみたいです。
■ビスイダイセンでの取組（旅行業登録・プラネタリーヘルスツーリズム・若手人材育成）など、興味深いです。

登場人物

■**山中**さんって凄いですね。いつかそちらに行って一緒に農作業をしたいです。
■**デル**の元会長**吹野**さん、**観光庁**の**星**さん、**東大**の水研究チームなど、本当にいろいろな方々が淀江に度々来られているんですね。
■キッズキャンプ、皆の文章が素敵ですね。

食事

■今まで食べた〇〇の中で一番おいしい。私もそう思います（ピーマン・椎茸・キーマカレー・スープ・魚介・日本での食事）。

毎月の発行

■毎月発行、凄いですね。大変ですよね。
■職場に持って行って、皆で読んでいます。
■娘が来る度、うちから持って帰ります。
■毎号、ファイリング、保存しています。

創刊号 2023.03

7号 2023.10

13号 2024.04

19号 2024.10

2号 2023.04

8号 2023.11

14号 2024.05

20号 2024.11

3号 2023.05

9号 2023.12

15号 2024.06

21号 2024.12

4号 2023.06

10号 2024.01

16号 2024.07

22号 2025.01

5号 2023.08

11号 2024.02

17号 2024.08

23号 2025.02

6号 2023.09

12号 2024.03

18号 2024.09

24号 2025.03

お得な特典たくさん！淀江の宿今津田中家 2025 年度会員募集

瓦版継続発行を応援してくださる会員の皆様を募集しています。お得な会員特典も！ご協力よろしくお願いいたします。

年会費　継続会員 2,000 円　新規会員 3,000 円

お申込みフォーム

会員特典

- **瓦版の送付**　継続会員：瓦版 25 号～ 36 号　新規会員：瓦版 1 号～ 36 号
- **お米 1 升**（約 1.5kg）**プレゼント**（きぬむすめ or もち米）
  - ・新米ご希望の方は 2025 年 11 月以降
  - ・お米は基本当宿にてお渡し（郵送料別途）
  - ・お米が不要な方は、セレクトギフト（利用券・お米以外の自家製商品）プレゼント
- 毎月 1 回 **各種 10% 割引券**
  （飲食・カフェスペースレンタル・宿泊・イベント参加）

Infomation

Bisui Daisen 関係者が各地で登壇します！

X WISDOM SYMPOSIUM 2025　By 株式会社 ROOTS
地域の知恵と世界の知恵が響きあい新たな創造を起こす国際シンポジウム

一般社団法人 Bisui Daisen（宿のオーナー 洋子が専務理事を務める）が、天籟株式会社の桐村里紗医師などと連携して提供しているプラネタリーヘルスツーリズムの事例発表が、京都のシンポジウムの一部で行われます。桐村医師やそのツーリズムに帯同して学んできた Mimori の坂上萌さんと松田彩子さん（瓦版 17 号参照）が 2 月に京都で事例発表されます。
オンラインでも参加できますので、ぜひご視聴ください。

日　時：2025 年 2 月 3 日 (月)9:30 ～

日本の地域文化を次世代に継承するプレイヤーや、世界各地で地域文化を育むプレイヤーが一堂に集結します。

＜クロストーク①：源流地域の X WISDOM 実践事例＞　10:00~11:15
郡上地域：岡野春樹 氏
京都地域：北林功 氏
大山地域：桐村里紗 氏＆Mimori
ファシリテーター：フェイラン 氏

ミチシルベ 共創プログラム　By ミチシルベ 2025 実行委員会
UTAKI dialog わたしと自然と神様と日本の在来信仰コスモロジー

一般社団法人 Bisui Daisen の代表理事大原徹さんが、沖縄でスピーカーとして登壇します。オンラインでも参加できますので、ぜひご視聴ください。

日　時：2025 年 2 月 7 日 (金)13:00 ～ 16:00

西欧文明から見た“もうひとつの世界”未来に残したい心の叡智が全国から沖縄に集います。

スピーカー	早坂 賀道 氏 from 北海道 上川アイヌ Wesley keppel-Henry 氏 from 山形県 出羽三山 岡野 春樹 氏 from 岐阜県 郡上白山 片山 文恵 氏 from 奈良県 吉野山・群馬県 妙義山 大原 徹 氏 from 鳥取県 大山 仲本 いつ美 氏 from 沖縄県 やんばる
モデレーター	浅倉 彩 氏 編集者・プロデューサー / UTAKI dialog 発起人

3/8(土)　11:00 - 13:30

淀江の宿今津田中家ランチ

日替わり店長カフェで大人気！淀江の宿今津田中家特製メニューをご提供します。

- キーマカレー・スープ　￥1,100
- 自家製黒豆のスイーツ　￥330
- 各種ドリンク　￥440～
  （珈琲・エスプレッソ・ラテ・カプチーノ・柚子はちみつ）

※13:00 までにご来店ください

瓦版 2 周年イベント

瓦版 2 周年を記念して、感謝を込めて、2 周年パーティと餅つきを行います。ぜひお越しください。

参加申込はこちら

3/8(土)　18:00 - 21:00

瓦版 2 周年パーティ

会費：2,000 円（会員無料）

- 地元丸ごと BBQ
- スナック洋子 プレオープン

3/9(日)　11:00 - 13:30

餅つき（ふるまい）

- 雑煮・黒豆きな粉餅

※「淀江の宿 今津田中家」の宿で提供している地元食材を使った朝食・江戸時代の朝食作り体験・BBQ・鍋、またランチ・カフェメニューは、日替わり店長カフェの日以外についても、4 名以上でご予約を承ります（7 時～ 21 時）。詳細は WEB サイト等でご確認ください。

連載「淀江プロジェクト」物語［第23話］

「淀江プロジェクト」とは、今津田中家という一軒の古民家を巡る物語である。

第23話：コロナ禍、引っ越しはお忍びで

二拠点生活は無理かも？塚本オフィス（大阪）の解約を決意！

2018年の年の瀬クリスマスイブの前日に第1弾がスタートした「淀江プロジェクト」。2019年1月に第2弾、3月に第3弾、5月に第4弾、7月に第5弾、9月に第6弾、12月に第7弾、2020年2月に第8弾、3月上旬に第9弾を実施して、片付けから解体、そして再生へとフェーズが進んでいき、5月のUターンに向けて準備が整った3月19日、洋子は大きな決断をする。

本来は、4月中旬に大阪の自宅の荷物を淀江に運び、4月末には米子市民になり、5月上旬は海外で2週間ほど過ごして、その後、淀江での生活を始めるつもりで、飛行機や宿泊の予約なども既に行っていた。そして海外で過ごした後に淀江の生活を始めてからも、頻繁に大阪と淀江を行き来する二拠点生活をする予定で、大阪市淀川区塚本にある**塚本オフィス**を残して、1ヶ月のうち、10日～15日くらいは大阪で活動するイメージでいた。

だが、世界や日本の都市部で日々感染者が増えていく中、鳥取県ではまだ一人もコロナ感染者が出ていないという現状から、5月には、海外へ行くこと、そして大阪と米子を行ったり来たりすることがかなり難しくなるのではないか、そう思った洋子は二つの大きな決断・その対処をする。

■海外旅行は中止（宿泊予約をキャンセル）。

■大阪にある**塚本オフィス**を撤退（不動産屋さんに解約通知を送る）。

自宅の荷物の引っ越しを断行！

2020年4月7日に東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡の7都府県に緊急事態宣言が発令される。賃貸契約上、引っ越しを延期することができず、4月14日、お忍びで自宅の荷物の引っ越しを断行する。淀江に運ぶ荷物を引っ越しやさんのトラックに積み込んでもらい、洋子と娘の**萌々子**は車で淀江に向かい、夜の20時頃に淀江に到着する。洋室には、鳥取市浜村の**恭ちゃん**（**長久保恭平**さん）が作ってくれたベッドが置いてあった。

翌15日、引っ越しやさんが荷物を淀江に持って来てくれて、搬入。大量の段ボールは置いたまま、段ボールを2箱だけ開封して荷物を取り出し、どこにも出かけることなく、近所の方には電話で荷物を搬入したことを伝え、その日のうちに洋子と**萌々子**は車で大阪にとんぼ返りした。海外へ行くはずだった5月上旬に淀江に帰ってきて、家に籠って、荷物の整理をしよう。そんな風に考えていた。

が、翌16日には、緊急事態宣言の対象が全国に拡大され、その後、ある一本の電話がかかってくる。

GWには帰って来ないで・・・。

今津集落で「**メイちゃん農場**」を営んでおられる**大下**さんからだった。

「洋子さん、ゴールデンウィークにはこちらに帰って来て、荷物の整理などをする予定だと言っておられたと思うのですが・・・。大阪に住んでおられる洋子さんがこちらに帰って来られると、集落中にコロナが蔓延してしまうのではないか・・・と心配される方々の声が上がっています。次期自治会長さんからの伝言なんですが、ゴールデンウィークは、こちらに戻らず、大阪で過ごしてもらえませんか？」

賃貸契約上、大阪の自宅は4月末までしか住めず、海外へ行くのも止めたため、5月から住むところを失ってしまった洋子は、**Airbnb**で大阪の民泊を探し、ゴールデンウィークには民泊を転々とし、過ごすことにする。

「大阪でいろんな民泊に住む経験を今しておくことは、淀江でゲストハウスをこれからやっていく上でいい経験になるよね。」と楽観的に捉えて、大阪での引き籠りゴールデンウィークを**萌々子**と楽しむことにした。

5月中旬には、事務所も完全に引き払う予定にして引っ越しやさんも手配しているが、引っ越しを実施することはできるんだろうか　という不安を抱えながら、刻々と目まぐるしく変化する状況に翻弄される日々が続いていった。

大阪の塚本オフィス

淀江に積まれたダンボール

安倍元総理の緊急事態宣言

―第二十四話に続く―

作者：田中 洋子
㈱ウォリス 代表取締役。淀江町今津にある実家を多くの人の手を借りてリノベしてUターンし、宿として活用。

「淀江プロジェクト」物語［第23話］

淀江の宿 今津田中家
=IMAZU-TANAKA-YA=

ホームページ　お問い合わせ

淀江の宿 今津田中家
〒689-3401 鳥取県米子市淀江町今津 50-1
TEL：0859-30-3889
www.imazutanakaya.com

今後は LINE を始め各種 SNS にて瓦版を発信していきますので、ぜひご登録をお願いいたします。

LINE公式アカウント
お店のポイントが貯まる！